

(株) プラスティックス

「アクリル板の間に写真やメッセージをプリントした「フォトブロック」



写真、文字を特殊印刷

プラスティックス(福井)

アクリルのオブジェ商品化

プラスティック2次加工のプラスティックス(本社福井市南居町、大澤重

弘社長)は、写真や文字を特殊印刷したアクリル製のオブジェを商品化した。写真スタジオや結婚式場などをターゲットに販路を開拓する。

開発した「フォトブロック」は、厚さ2〜10ミリの透明アクリル板を3枚重ね合わせて作製。それぞれ板に、顧客のお気に入りの写真や文字が「PSP印刷」という方法で印刷される。同社が開発した技術で、高精細画像を表現できるという。

各板に印刷することで文字が浮き上がって見えたり、文字の影が写真に写り込むなど立体的な表現となる。結婚式のウェルカムボードや学校行

事、クラブチームの記念シャツ、切手など6種類の形も対応している。7月中旬に専用サイトを立ち上げ、注文を受け付ける。価格は一般的な規格(縦21センチ×横15センチ×厚さ1.5センチ)で1万2800円。ほかにハートやT

シャツ、切手など6種類の形も対応している。7月中旬に専用サイトを立ち上げ、注文を受け付ける。同社は「最高の一瞬を捉えた写真を、透明感の高いアクリルに閉じ込めることで、思い出を残し

てもらえれば」としている。同社は、化粧品店のディスプレイ台や、スーパーのたばこ陳列ケースなどを製造。昨年から最終消費者向けの商品開発を進めている。